

庄原市地域公共交通会議 第2回ワーキング会議

令和7年8月19日(火) 14:00~16:00

本日のワーキング会議の流れ

14:00~14:05	● 開会あいさつ ● 第2回の趣旨説明等
14:05~14:20	● 第1回結果の振り返り、地域別現況説明 ● グループワークの方法についての説明
14:20~14:40 (最大20分)	【グループワーク①】 「前回ワーキング会議の振り返りと公共交通の役割」
14:40~15:55	【中間共有】 各地域ごとに中間発表
14:55~15:35 (最大40分)	【グループワーク②】 「公共交通の目指す姿」
15:35~15:55	【まとめ・情報共有】 最終発表、全体に関わる総括(神田先生より)
15:55~16:00	● 今後のスケジュール説明 ● 閉会挨拶

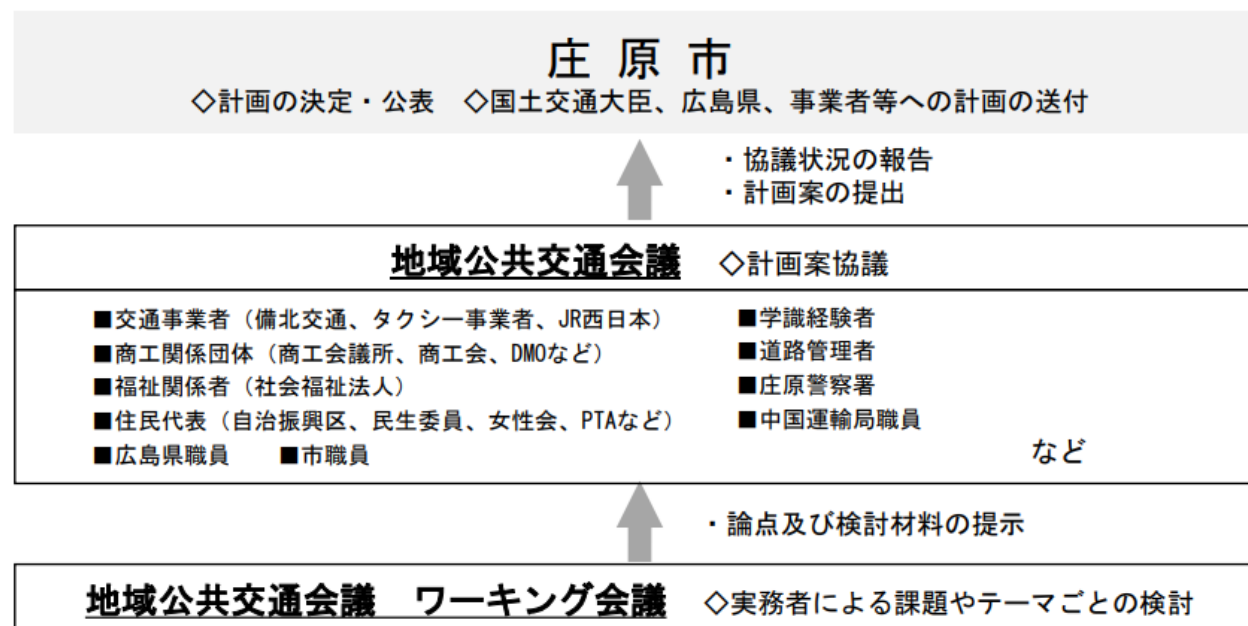
ワーキング会議の目的

新たな「**地域公共交通計画**」の策定に向けて、将来像や基本方針(譲れない軸・基準)を決めていくための材料を得るため、公共交通の役割(交通でできること)に対してのアイデア・意見を出し合うことで、「公共交通を使って実現したいまち・暮らし」のイメージを共有・具体化します。

地域公共交通計画とは

地域の実情に応じた持続可能な公共交通ネットワークを構築するための公共交通のマスタープラン

庄原市では令和2年3月5月に現計画である「**庄原市地域公共交通計画**」を策定しており**令和7年度は計画期間の最終年度**となります



▲ 地域公共交通計画の策定体制

前回のワーキング会議の
ふりかえり・意見の紹介

議題 その1

公共交通の可能性と課題

普段市の公共交通に対して感じていること、公共交通でできると思うこと、問題点や課題だということ等

議題 その2

公共交通計画で実現したいこと

公共交通を使うことによって実現したいこと、新たなまちの姿、庄原市の暮らしをより良くしていくためのアイデア等

【現状・問題点】

- 財政負担の増大
- 公共交通の現状や問題点に関する市民への情報共有や理解の不足
- 担い手(運転者不足)の深刻化
- 運転者不足を起因とした交通サービスの利便性や市民生活への影響
- 車両の老朽化と修繕費の増加
- 利便性のある公共交通サービス(ダイヤ等)の確保
- 現状の公共交通でカバーしきれない場所に暮らしている人
- 夜間におけるタクシーの休止

【市として認識している課題】

- 財政支出の抑制、公共交通の効率化
- 公共交通に対する理解の促進、情報共有の仕組み強化
- 運転者不足への対応
- 地域公共交通の担い手確保
- 山間部やバス路線から離れた地域の利便性確保
- 新たな需要の掘り起こし等の利用者確保策
- 夜間の交通手段の確保

庄原・総領テーブル

- 運転者不足と車両維持費の負担
- 介護サービス利用者の公共交通利用の困難さ
- 運転免許返納者の公共交通利用への移行困難
- 交通情報の一元化不足(庄原市内の交通ルートが分散)
- 時間制約(通院時間の集中、土日祝日の運行停止)
- 乗り継ぎの不便さ(事業者間の連携不足)

高野・比和・口和テーブル

- 高校生の部活後のバス利用困難
- 地域に商店がない(買い物環境の不足)
- 乗合タクシーの時間制限・制約
- 土日祝日の運行停止
- バス停までの移動困難(高齢者のアクセス問題)
- 車両台数不足(早いもの勝ちの状況)

東城・西城テーブル

- 自家用車利用者の公共交通離れ
- 夜間交通手段の不足
- 小地域内移動の不便さ
- 交通手段の検索・情報取得の困難
- バス停までのアクセス問題
- 地域間移動需要の不足

各テーブルで共通している問題点

- ① 運転者・担い手不足
- ② 夜間・休日運行の不足
- ③ 情報提供・案内の不足
- ④ バス停アクセスの困難

庄原・総領テーブル

福祉・介護との連携	● 介護サービス利用者が公共交通を使える仕組み ● デイサービスの帰りに買い物に行ける仕組み ● 施設へ入所している高齢者のまとめた移動(買い物など) ● 介護サービスでの送迎不足を公共交通と共有で解決
地域資源の活用	● リソースの共有 ● スクールバスやデイサービスなどの車の活用 ● 総領地域の取組み(こまわりくん)を社会福祉法人等でも展開
まちづくり・観光との連携	● 発想転換による観光、呼び込み、受け入れ、魅力ある町、イベント等 ● 移動手段の提供でポイントを作る ● 移動の目的を創造していく(にぎわい) ● 地域を面と線で支える仕組み
利便性の向上	● 市営バスなどへ「モビリーデイズ(交通系ICカードアプリ)」の導入 ● 他事業者からの乗り継ぎ割引などの導入 ● 庄原市内の交通ルートなどが一元化されたホームページ(観光でも活用) ● 買物の荷物の持ち帰りやサポートサービス

東城・西城テーブル

新技術・システム活用の可能性	● MaaSの取り組みを他の地域にも拡大 ● 時間・場所がアプリ等で指定できるバス、タクシー ● 自動運転 ● 交通手段のつながが見える検索システム
地域主体運営の可能性	● 自治振興区が地域ごとにある強みを活かした「地域に任せる仕組み」 ● 地域主体の公共交通を支える体制構築
魅力的な移動体験の可能性	● 旧市町間の移動手段は、バス、鉄道の車両を格好良く、快適にする ● 循環路線も対面で座れて話できるようにする ● 楽しい記憶と交通を結んで利用促進
多様な利用促進の可能性	● 自家用車利用者もたまには公共交通を使ってみたくなる仕組み ● 公共交通を利用毎にマイルのようなポイントがたまる制度 ● 夏・冬・春休み子どもの公共交通の運賃割引 ● 公共交通への子どもの参画(モビリティマネジメント)
雇用・人材確保の可能性	● 公共交通を使った雇用促進 ● 雇用の生み出し、学生の参画(社会貢献したい人もいると思う) ● 地域づくりとの連携 ● インターンシップ等による若者の受け入れと交通の運営や人づくり

高野・比和・口和テーブル

多様な交通手段	● 広域でのデマンド型タクシー、乗合タクシーの地域外への乗り入れ ● 交通空白地有償運送で市内中心部まで運行
貨客混載・効率活用	● 貨客混載の推進 ● 昼間はバス、JRの利用者が少ないので、貨客混載等でこの余力を活用 ● 定期バスが動いていても人が乗っていないのはもったいない
住民参加型交通	● 住民助け合いついででの同乗、白タク基準(謝礼) ● 自家用車の移動ついでに合わせた乗り合い交通 ● タクシー業者で呼びかけて人集めて乗合で移動する ● 自家用車活用して安心して乗れる仕組み
新しい交通システム	● ライドシェアとの共創し、色々な交通の組み合わせ ● スクールバスの生徒、児童の混乗 ● 新しい交通システムや自動運転への取り組み
楽しい移動体験	● “カープバス”車内でラジオを聴く“おしゃべりバス”“カラオケバス”を昼間に運行する等、バスの中で楽しめる「移動サロン」を創る ● 健康促進に活用(公共交通に乗るなど健康になれ等をPR)
ラストワンマイル解決	● バス停が遠い方へシニアカーを無償貸与 ● バス停にシニアカー駐輪場、シニアカーが通れる歩道の整備 ● ラストワンマイルだけでなくファーストワンマイルとしてライドシェアを活用
商業・観光連携	● 市内の大手業者との提携、買い物支援、ショッピングツアー(ポイント2倍とか楽しみ) ● 目的地(商業施設、観光地等)までの公共交通のアクセス情報を積極的に発信

庄原・総領テーブル

高齢者・要支援者の自立した生活の実現	● 公共交通を利用する方は車免許返納等で困っている方々なので、行ける時に希望通り運行してくれる乗り物を期待 ● 自宅から利用したい所(病院、買い物)、自宅からの往復移動を実現 ● 運転免許証を返納された方も公共交通を利用できる環境づくり ● バスやタクシーへ乗る訓練の提供
福祉サービスとの一体的な生活支援	● 介護サービス利用者が公共交通を使える仕組みの実現 ● デイサービスの帰りに買い物に行ける環境 ● 介護サービスでの送迎不足を公共交通との共有で解決
地域の持続可能性とにぎわいの創出	● まちづくりにおける移動手段の提供、ポイントを作る ● にぎわいのための移動の目的を創造 ● 観光、呼び込み、受け入れ、魅力ある町、イベント等の実現 ● 地域の実情に応じた交通システムの構築
効率的で使いやすい交通システム	● 運行していく上での諸々のルール、決まりのハードルを低く設定 ● 町、地域の状況が違うので、その地域で可能なやりやすい取組み ● 通院の利用者が多い介護タクシーの時間集中解消(時間別運賃設定) ● 交通事業者間の連携(乗り継ぎ)強化

東城・西城テーブル

誰もが使いたくなる魅力的な公共交通	● 自家用車利用者もたまには公共交通を使ってみたくなる仕組み ● 旧市町間の移動手段は、バス、鉄道の車両を格好良く、快適にする ● 循環路線も対面で座れて話できる環境 ● 楽しい記憶と交通を結んで利用促進
地域主体の持続可能な交通運営	● 地域に任せる仕組み構築 ● 地域主体の公共交通を支える体制構築
多世代が参画する交通システム	● 公共交通への子どもの参画(モビリティマネジメント) ● 子どもの学びのスペースと交通拠点の連携 ● 夏・冬・春休み子どもが使いやすい交通、山村留学の支援
雇用創出と人材育成	● 公共交通を使った雇用促進 ● 雇用の生み出し、学生の参画(社会貢献したい人もいると思う) ● インターンシップ等で若者を受け入れて、交通の運営や人づくり
夜間・多様な移動ニーズへの対応	● 夜間タクシーではない飲んでも帰られる交通の仕組み(代行サービスなど) ● 夜間に使いやすい公共交通の開発 ● 人口減少問題への対応
観光振興と地域間交流の促進	● 地域間の移動需要の創出 ● 地域の魅力アップ ● 観光客が来てもバスなし・タクシーなしの問題解決、宿泊場所への移動確保

高野・比和・口和テーブル

学生・若者の移動環境改善	● 高校生が部活後でもバスを利用できる環境 ● 高校生の通学でバス
広域での自由な移動	● 広域でのデマンド型タクシー(地域外への乗り入れ) ● 交通空白地有償運送の活用
日常生活の利便性向上	● 乗合タクシーの利用時間制限解消、生活バスの夜間運行 ● 土日にバスがない不便さの解消、休日に乗れるモビリティの実現 ● 便利な時間、乗りやすい、早過ぎない、帰るのが楽な交通
高齢者の移動支援強化	● 歩いて行くのが難しい人への支援、ドアツードア方式の実現 ● 自分で買い物ができる、自分で商品を選べる環境(町外での買い物も含めて)
楽しく健康的な移動体験	● 地域経済への貢献 ● バスの中で楽しめる移動サロン ● バスを活用した健康増進
効率的で持続可能な移動の仕組み	● 車両制約の解消、乗合タクシーを複数台配車体制 ● バスの小型化、空席が少なくなるような効率化 ● サブスク等の工夫により乗りやすいシステム
情報の見える化	● 市内全域での交通アプリ ● 全体の交通の見える化(わからない状況の解消) ● バス停等の情報をわかりやすさ改善

テーブル	問題点・課題	可能性に関するキーワード	実現したいこと
庄原・総領	- 福祉・介護との連携 - 不足情報の分散化	- 既存資源の共有・活用 - 地域間連携	- 生活支援の充実 - 効率的なシステム構築
東城・西城	- 地域主体運営の不足 - 夜間交通の欠如	- 新技術活用 - 地域参画促進	- 魅力的な交通 - 人材育成・雇用創出
高野・比和・口和	- 公共交通の時間制約 - 広域移動の困難	- 多様な交通手段の組み合わせ - 楽しい移動体験	- 利便性の追求 - 移動の楽しさ
共通していること	- 運転者・担い手不足 - 夜間・休日運行の不足 - 情報提供・案内の不足 - バス停アクセスの困難	- 既存車両・資源の有効活用 - 地域住民・団体の参画 - デジタル技術の活用 - 他分野(福祉・観光)との連携	- 地域特性に応じた柔軟な交通システム - 持続可能な運営体制 - 利用者にとって使いやすい・わかりやすい交通 - 地域活性化への貢献

今日のワーキング会議の テーマ・議題

議題 その1

前回ワーキング会議の振り返りと公共交通の役割

前回のワーキング会議で出た課題や「可能性」「実現したいこと」を基に、追加したい内容や自分の地域で特に重要だと思われる点等について、ご意見をお聞かせください。

また、地域にとっての公共交通の役割についてもご意見をお聞かせください。

キーワード

高齢者の生活、学生の通学、社会生活、外出する楽しみ・遊び、健康増進、人々の交流、観光、地域の活性化、魅力アップ、環境負荷の軽減

議題 その2

公共交通の目指す姿

その1で議論した「可能性・実現したいこと」「公共交通の役割」を基に、地域としてどのような公共交通が望ましいか「目指す姿」について意見・お考えをお聞かせください。

【まずは、なるべく具体的に目指す姿についてご意見ください】

- ・ ■■の病院までバスを使って週●日は必ず行けるようにする(乗り継ぎ等も含めて)
- ・ ■■地域の▲▲エリアの高齢者はバス停ではなく、自宅の近くから利用できるようにする
- ・ 庄原の医療機関まで●分以内には着くようにする
- ・ 庄原中心部で飲んでも●時までは帰れるようにする
- ・ 路線バスの利用者は●人は確保できるようにする など